
「産科 DIC (Disseminated Intravascular Coagulation : 播種性血管内凝固症候群) が二次性に弛緩出血を起こすメカニズムの解明」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB (臨床研究における倫理審査を行う委員会) の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、病理検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院において、2006 年 01 月 01 日から 2022 年 12 月 31 日までの期間にコントロール不能な産科危機的出血の診断により分娩後に子宮全摘術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

分娩時の大量出血及び止血困難な病態が二次性に子宮収縮不全(弛緩出血)を引き起こすメカニズムを探索することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 07 月 01 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

コントロール不能な産科危機的出血の診断により分娩後に子宮全摘術を行い、羊水塞栓症又は前置胎盤と診断された一部の方の病理検体及びカルテ情報等を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である鷹野夏子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

コントロール不能な産科危機的出血の診断により分娩後に子宮全摘術を行い、羊水塞栓症又は前置胎盤と診断された一部の方の病理検体及びカルテ情報等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

鷹野 夏子 埼玉医科大学病院 産科・婦人科 助教

梶原 健	埼玉医科大学病院	産科・婦人科	教授
水野 由美	埼玉医科大学病院	医学部・中央研究施設	講師
松村 舞依	埼玉医科大学病院	病理学	講師
田丸 俊輔	埼玉医科大学病院	産科・婦人科	准教授
亀井 良政	埼玉医科大学病院	産科・婦人科	教授
山田 健人	埼玉医科大学病院	病理診断科	教授

4. 試料・情報の管理責任者

【所属医療機関名】 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身の病理検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 産科婦人科 鷹野夏子

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1347（土日祝日を除く 9：00～16：30）

○研究課題名：産科 DIC が二次性に弛緩出血を起こすメカニズムの解明

○研究責任者：埼玉医科大学病院 産科婦人科 鷹野夏子